

栗峰

No.18
2023. 8. 6



栗原市（旧高清水町）桂葉清水は、国道4号線バイパス東側「かつらっば」と呼ばれ親しまれ、高清水七清水を代表する清水です。湧き出る水は、豊かで水質も良く、昭和60年に環境庁から日本名水百選に選定されました。平成4年、周辺を公園として整備し訪れる人も多くなっています。

目次

同窓会会長と校長の挨拶	2
各支部の近況・ご勇退された先生方から	3・4
対古高定期戦結果と応援団長挨拶	5
令和5年度総会当番幹事のあの頃	6
令和4年度決算・令和5年度予算報告	7
令和4年度卒業生同窓会学年幹事の紹介と生徒会長挨拶	8



故郷と母校への想い出

宮城県築館高等学校同窓会



会長
渡邊 一正
(高二十八回卒)

同窓生の皆さん、いかがお過ごしですか。今や全国に三万五千余名の同窓生がおりますが、それぞれの年代、職業、立場で日々の生活に追われていることと存じます。同窓生方々は、若い時は、仕事や家庭でなかなか地元を離れて生活をされ、昔の青春時代を振り返るゆとりがないかもしれません。

しかしながら、年代が高くなるにつれて故郷と母校のことが懐かしく思い出されるようになります。そして、故郷を思う時、必ずといついてい程、我母校、築館高校を同時に思い出されます。人生の青春時代の中で一番密度の濃い時代ですので、どうしても忘れがたいものがあります。我、母校も統合して十八年目を向かえました。子ども達も、勤勉に部活に精一杯頑張っています。思っような成果がでない時もあります。着実に成長をしております。

す。

いよいよこれから力が発揮する時代が到来しました。潜在能力の高い栗原の子ども達が、伝統校である母校に入学し、文武両道を目的に切磋琢磨して、旧制中学としての自信と誇りを持って、これからの時代を築いていくと心から願うものであります。

このことが我々同窓生として、何よりの励みになり、尚一層、故郷の思いを強くします。東京支部、仙台支部の先輩方も、多いに期待をされていることです。母校の限らない発展を祈念申し上げ、挨拶いたします。今後ともよろしく願います。

ポストコロナ

～令和の築高スタイルを目指して～



学校長
野中 淳

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にさまざまな形でご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度も何卒、母校で学び伸びる子ども

供たちのためにご支援をよろしく願います。

申し遅れましたが、この4月に築館高校に赴任しました野中淳と申します。生まれも育ちも大崎市古川です。

平成30年度と令和元年度の2年間築館高校に教頭として勤務させていただきました。お世話になりました。再び、伝統ある築高に勤務することができ、大変光栄に思っていると同時に、その重責に身の引き締まる思いであります。

さて、5月8日に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行されました。それにより学校の対応もだいぶ緩和され、ほとんどの学校行事を制限なく、行うことができるようになりました。

しかし、この2、3年どの行事も、縮小開催か中止となっていたので、1年生だけでなく、2・3年生も、経験がなく、我々教員も含め、その準備に大変苦労しています。

特に4月27日に行われた第64回対古川高校定期戦は、年度はじめてでもあり、大変でした。4年ぶりのフルスベック開催、久しぶりに両校の全校生徒が一堂に会し、開会式閉会式が行われ、恒例の校歌斉唱や応援合戦も復活し、両校が対峙する勇壮な光景、古高

応援団には負けられません。そのための準備は余念なく進めたいのですが、しばらく応援練習が実施されなかったもので、経験のないリーダーの3年生は当然、どう指導したらいい見当が付きません。まっさらな状態でのスタートでしたが、このタイミングを変化の時と捉え、生徒会長を中心に生徒会執行部が新たな応援練習のスタイルを模索し、伝統を維持しながら、時代にあった爽やかな築高応援団に上げてくれました。

結果は惜敗に終わり、悔しい思いもあつたと思いますが、どの生徒も素直に一生懸命応援し、その一体感を体験すると共に定期戦の醍醐味を感じ満足感を得たと思っています。

これから築高祭、体育祭や様々なボランティア活動が続いていきます。迷いはあると思いますが、生徒達が主体的に考え、柔軟な発想で新たなスタイルを創造してくれるものと思っています。今後とも引き続き温かいまなざしで築高生を見守っていただくと共にご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、同窓生の皆様のご健康とご多幸と築高同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。

教師のワーク・アズ・ライフ

築館高等学校同窓会東京支部



支部長

駒井 隆治

(高十三回生)

「趣味と仕事の間には境目がなく、どの瞬間を切っても『自分にとって楽しいこと』を全力でやっているような日常」。これが「ワーク アズ ライフ」の意味である。

私は今、週四日勤務し、大学生に授業をしている。その方法には、一工夫必要である。教師が力んでも、学生は伸びない。学生の潜在力を信じて、引き出す方法が必要である。これが、教育界で盛んな「アクティブラーニング」という方法である。

その一例に「ピアティーチング」という学習方法がある。学生が教科書の一節を選び、それを相手の学生に説明する。学生は、主体的に読み相手に伝えなければならない。これを取り入れたところ学生は、俄然、学ぶ姿勢が変わった。

さらにKPP法(紙芝居プレゼンテーション)も行っている。これは、三・四人のグループで、調べたことの要点を三枚の紙にマーカーで書く。その紙を示して、他の班にプレゼンする。学生たちは、集中して取り組むようになった。(手書きの良さを知る方法でもある。)

教師の一方向性の講義だと学習の定着率がわずか5%であるのに、このようなティーチングだと九十%程の定着率となるといふモデルがある。一般に教師は、知識を伝達することだけに心が奪われる。その効果や定着率には目が向かない。

これからの教育で最も重要なのは、「学び方を学ぶ」という生涯学習につながる指導法である。このような実践方法により、学生の伸びを引き出すことが出来る。

この実感を得る喜びが私の生きがいである。



人生至る処、青山あり

築館高等学校同窓会仙台支部

岡田正昭 (高十三回生 生徒会会長・弁論部長)

長き会社員生活に加え、会社設立運営二十年の歳月を振り返れば、傘年・八十路坂にある身には、古人の残した

この言葉は、まさに真理であるといづくと思う。

故郷の人々や転居毎のその場所・その時・その人々との出会いの思い出は尽きない。

たどりの着いたかな?と、思われる「俳句の道」に関して、思い出すまま、ここに散文・エッセイ、として書き連ねて見たいと思う。物心の付いた五六歳頃と思うが、母親の影響と指導で百人一首をそらんじていた時期がある。百人一首と言えば、そのほとんどは「恋・愛の詩」である。詩の意味も解らずに暗記していたが、多分カルタ取りで、負けたくなかったこともあったのであろう。一五歳で寮、下宿、寮生活を繰り返す内にそのほとんどは忘却の彼方であった。

社会経済活動真っ盛りの中、六三歳

に仙台市施設「老人福祉センター」を訪問、興味半分で、「俳句講座」に入会した。七四歳迄の経済活動の疲れと子供時代の文学への憧れが入会心を突き動かしたのかもしれない。以後十七の心安らかに継続した今がある。ここで、入会して間もなく、句二句公開。

○初光 一瀉千里天地割く

○忍ぶ恋 包みきれぬと春の闇

師匠山法師から絶賛され、以後その気になって今日に至りました。師匠の褒め上手旨し。

さて、「菱交」世古諏訪師匠との出会いは正に運命の定めた出会いと思っている。

先の少年期に父から受けた冊子「細倉の言葉・作者世古諏訪」は、時空を経て、心の底に宿っていたようだ。(手書きの挿絵説明入り。)

一説 きびつちよとは、ちんちゃんなり。今も、田辺聖子の倉百人一首、豪華本と一緒に手元に残してある。俳壇菱交主宰の跡

継ぎの話があった時は、正に運命の引き合わせと感じた。昨年十一月百号記念冊子発行全力!

何気ない日常に思いをこめて

宮城県庁築高同窓会



会長
千葉 章
(高三十四回生)

同窓会の皆さんこんにちは。宮城県庁築高同窓会会長の千葉です。実を言えば、新型コロナウイルス感染拡大の影響で総会を開催できず、会長就任は役員間での承認でしたので、正確には「暫定会長」ということになるかもしれませんが。今年度は、四年ぶりに会員が集う総会を是非、開催したいと思っています。

さて、会報「栗峰」を見る際に楽しみにしているページがあります。古川高校との定期戦です。正直、勝敗は二の次で、定期戦が続いていること自体が嬉しいのです。年齢を重ね、母校のことを懐かしく思うことが多くなりました。ありがとうございます(ちなみに私は剣道部でしたが、ここ数年で定期戦に対する思いは少し変わりました。新型コロナウイルスの影響で満足のいくプレーや応援ができなかったこともあったので)。

そのような制約の多かった時期を経ると、選手がのびのびプレーし、生徒が一生懸命に応援できる環境が実ありがたいと思うようになりました。

私は現在、県庁で防災や災害対策を担当する復興・危機管理部という部署にいます。災害や異常な出来事が起きないようお願いしながら日々過ごしており、何気ない日常の大切さを感じています。

教員活を振り返って



前学校長
狩野 秀之
(高三十四回卒)

私は、学生時代が長かったので、教員生活は、34年間でした。

様々な役職や校種、公所を経験させていただきました。一番長いのは高校教諭時代、自然の家や県庁、中学校にも勤務しました。

勤務校種や公所によって、見える地域の視野が異なり、役職によって見える視点の広さが変わりました。

振り返って、文章にしたためるにはあまりにも沢山の経験をさせていただきました。

子供たちをとおして、様々な人生を疑似体験させてもらいながら、彼らと同年の頃の自分と照らし合わせると到底、自分にはできない行動ができていた子供たちに人として、学ばせていることが多々ありましたし、彼らと話すことで、互いに考えが深まったり、彼らが卒業後も繋がりが、さらに広がる様々なネットワークを持つ幸せを感じております。

表面だけをサラッと触ったような文章ですがここから、ちよつとでも深入りすると大変なことになりますので、いつかどこかでお会いした時にお話をさせていただきます。

これからも、末永くよろしくお願いたします。



ご勇退 石川雄二先生

2023 世界選手権に出場を果たした
鶴澤飛羽(築館高→筑波大)を指導
彼は、築高2年生でインターハイ陸上
100m・200m優勝で現在も活躍中

築館高校に勤務して



前事務部長
谷津茂司

私は、令和2年4月から3年間、築館高校にお世話になりました。

古川高校から転勤してきたこともあり、伝統の定期戦も紫藤定期戦から藤紫定期戦と呼称が変わりました。おかげでスパイ容疑をかけられながらも、両校の手拭いを「新品のまま」所持しています。

この3年間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響をまともに受けたこともあり、以前のような教育活動ができず、教員、生徒がもがき苦しみながら、それでも新しいスタイルを創造していた姿がありました。

私は、岩ヶ崎高校卒で、築高同窓生ではありませんでしたが、同窓生の方々の栗原を愛する気持ちと学校とともに栗原から優秀な人材を育て、輩出することで地元へ活気を取り戻すんだという姿勢が、ひしひしと伝わってきました。

最後になりますが、築館高及び築館高同窓会の益々の発展を御祈念いたします。

2023 紫臈定期戦

令和5年度の結果

結果		築高	古高	
野球	●	3	10	○
サッカー	●	1	4	○
バスケットボール (男子)	●	48	50	○
バスケットボール (女子)	●	22	71	○
バレーボール (男子)	●	0	2	○
バレーボール (女子)	○	2	0	●
卓球 (男子)	●	0	5	○
卓球 (女子)	●	0	3	○
剣道	●	3	6	○
ソフトテニス (男子)	●	2	3	○
ソフトテニス (女子)	●	2	3	○
バドミントン (男子)	○	3	2	●
バドミントン (女子)	○	3	2	●
綱引き (男子)	●	0	2	○
綱引き (女子)	●	1	2	○
総 合	●	3	12	○

※今年度は、綱引きを男女別々に実施した。



毎年4月末に兄弟校である宮城県古川高等学校との伝統行事である古高定期戦は、北部地区総体（5月半ば）・県総体（6月初め）・東北総体（7月）・インターハイ（8月）の前哨戦として行なっている。この行事に向け、新生は朝昼放課後の応援練習に励み校歌、他数曲の応援歌を覚え築高生の自覚と誇りを身につける。本校入学の登竜門であり、最大イベントでもある。競技種目は15種目で行われ、勝ち越した方が総合優勝となる。競技以外にも両校生徒会長による舌戦や両校応援団による応援合戦なども見物である。ちなみに応援団長は、生徒会役員の中から選ばれ、伝統のあるエールをきる。

凱歌を轟かせて

応援団長 久我陸斗



「コロナ禍の制限がなくなって、久しぶりの声出しが可能となり、敵地

古川高校で両校校歌とともに第64回定期戦が開催されました。今年はジエnderフリーの観点から男女の差をなくすために築高生全員が腕に手拭いを巻いた新しい体制で挑みました。結果としては、一二対三で敗北してしまいました。

今の3年生が入学した時の応援練習から、声出しは規制されており、1〜3年生全員が歌詞や振りを覚えるところから始まりました。応援練習が始まる前にお互いに手拭いを付け合ったり、生徒手帳を開いて歌詞を覚えようと全員が定期戦に向けて一つになっている感じがしました。

応援団側も、「ぶっやったら、声を出さなくちゃ」「ぶっしたら歌詞を覚えられるのか」と、ミーティングを練習終わりの度に開いて試行錯誤しました。取り組みとしては、怒鳴るだけでなく、出来ていたら褒める、校歌や凱歌を朝と昼休みに流す等を行いました。

その結果、生徒は一人一人が声を出す意識が芽生えて、グラウンドいっぱい全校の音が響くまでに成長しました。応援団は、最初こそ怒鳴り方も、辿り着いた全員が袴の似合う頼もしいリーダーとなりました。昨年、敗北した先輩方言っていた「来年こそは、勝てるように」という言葉に結果としては、心えられませんでした。コロナ禍の規制がなくな

って、また新たに歩み始める新築館高校としては、大きな一歩としては、良い滑り出しになったと思います。

来年こそは、必ず、築館高校の凱歌を轟かせて欲しいです。



令和5年度総会

当番幹事のあの頃



令和4年度同窓会本部会計・総会決算

令和4年度 宮城県築館高等学校同窓会・本部会計決算書

1	収入総額	1,145,250 円
2	支出総額	696,834 円
3	残 額	448,416 円

1 収入の部 単位:円

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会 費	501,600	496,100		5,500	1,100円×451名
2 繰越金	552,050	552,850			前年繰越
3 雑収入	250	97,100	96,750		年会費 3,000円×48名、前年度未納分
合 計	1,654,000	1,145,250	91,250		

2 支出の部

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 運営費	170,000	236,945	66,945		
(1) 事務費	40,000	41,669	1,669		事務用品購入
(2) 通信費	20,000	118,444	98,444		資料寄附送料
(3) 旅費	110,000	76,832		33,168	
2 会合費	195,000	187,194		7,806	
(1) 役員会費	10,000	7,134		2,866	職員会費
(2) 支部会費	65,000	0		65,000	
(3) 入会式費	120,000	180,000	19,000		入会式記念品代
3 生徒支援費	200,000	118,864		81,136	保護生員への支援、築館検定受験費
4 広報費	150,000	48,458		101,542	
5 事業費	150,000	180,180	30,180		高校入試対策講座等費用
6 渉外費	2,000	0		2,000	
7 雑費	11,000	5,753		5,247	
(1) 慶弔費	10,000	5,753		4,247	
(2) 雑費	1,000	0		1,000	
8 予備費	176,000	0		176,000	
合 計	1,654,000	696,834	257,146		

3 次年度繰越金

繰収入額	繰支出額	差引額	備 考
1,145,250	696,834	448,416	

監 査 報 告 書

令和4年度宮城県築館高等学校同窓会会計について、令和5年3月20日に帳簿及び関係書類を監査した結果、正確に処理されていることを認めます。

令和5年3月20日

宮城県築館高等学校同窓会会長 殿

監事 佐々木 嘉郎 (業)

監事 千葉 由美子 (業)

令和4年度 宮城県築館高等学校同窓会・総会会計決算書

1	収入総額	924,501 円
2	支出総額	612,849 円
3	残 額	311,652 円

1 収入の部 単位:円

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 会費	315,000	481,000	166,000		
(1) 前売券	300,000	354,000	54,000		3,000円×118人
(2) 当日券	15,000	24,000	9,000		3,000円×8人
(3) 協賛金	0	127,000	127,000		1,000円×127人
2 繰越金	404,501	404,501			前年度繰越分
3 雑収入	499	15,000	14,501		ご祝儀
合 計	720,000	924,501	204,501	0	

2 支出の部

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比 較		備 考
			増	減	
1 総会費	600,000	521,220		78,780	
2 通信運搬費	50,000	39,208		10,792	
3 消耗品費	20,000	14,141		5,859	
4 印刷・広告費	35,000	38,280	3,280		
5 予備費	15,000	0		15,000	
合 計	720,000	612,849	107,151		

3 次年度繰越金

繰収入額	繰支出額	差引額	備 考
924,501	612,849	311,652	次年度繰越とする

監 査 報 告 書

令和4年度宮城県築館高等学校同窓会（総会）会計について、令和5年3月20日に通帳及び関係書類を監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和5年3月20日

宮城県築館高等学校同窓会会長 殿

監事 佐々木 嘉郎 (業)

監事 千葉 由美子 (業)

令和5年度同窓会本部会計予算

令和5年度 宮城県築館高等学校同窓会・本部会計予算書 (案)

1	収入総額	1,064,000 円
2	支出総額	1,064,000 円
3	残 額	0 円

1 収入の部 単位:円

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	備 考
1 会 費	613,700	501,600	112,100	1,100円×467名 (在校生) 2,000円×50名 (卒業生)
2 繰越金	448,416	552,050	△ 103,634	前年度より繰越
3 雑収入	1,884	350	1,534	雑入
合 計	1,064,000	1,054,000	10,000	

2 支出の部

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	備 考
1 運営費	265,000	650,000	△ 385,000	
(1) 事務費	45,000	予算額	≠VALUE!	事務用品・封筒印刷代
(2) 通信費	120,000	600,000	△ 480,000	文書・資料送付代・会報送付代
(3) 旅費	100,000	50,000	50,000	支部総会等参加旅費
2 会合費	195,000	784,000	△ 589,000	
(1) 役員会費	10,000	42,000	△ 32,000	会議費
(2) 支部会費	65,000	15,000	50,000	支部総会会費
(3) 入会式費	120,000	727,000	△ 607,000	卒業生入会記念品
3 生徒支援費	180,000	0	180,000	保護生員への支援、築館検定受験費
4 広報費	100,000	150,000	△ 50,000	会報印刷代
5 事業費	200,000	150,000	50,000	高校入試対策講座等費用
6 渉外費	2,000	0	2,000	
7 雑費	11,000	0	11,000	
(1) 慶弔費	10,000	0	10,000	弔電等
(2) 雑費	1,000	0	1,000	
8 予備費	111,000	176,000	△ 65,000	
合 計	1,064,000	1,910,000	△ 846,000	

令和5年度 宮城県築館高等学校同窓会・総会会計予算書 (案)

1	収入総額	727,000 円
2	支出総額	727,000 円
3	残 額	0 円

1 収入の部 単位:円

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	備 考
1 会費	415,000	315,000	100,000	
(1) 前売券	300,000	300,000	0	3,000円×100人
(2) 当日券	15,000	15,000	0	3,000円×5人
(3) 協賛金	100,000	0	100,000	1,000円×100人
2 繰越金	311,652	404,501	△ 92,849	前年度繰越分
3 雑収入	348	499	△ 151	
合 計	727,000	720,000	7,000	

2 支出の部

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	備 考
1 総会費	600,000	600,000	0	会費・懇親会費・丹沢の謝礼金ほか
2 通信運搬費	50,000	50,000	0	実行委員会及び総会案内
3 消耗品費	20,000	20,000	0	会議費用等
4 印刷・広告費	42,000	35,000	7,000	ポスター・チケット印刷
5 予備費	15,000	15,000	0	
合 計	727,000	720,000	7,000	

※予算執行について
支出予算の全額に達不足が生じた場合は、支出予算総額の範囲内で各項目間の全額を流用することができるものとする。

令和4年度卒業 同窓会学年幹事の紹介



3年1組 千葉真果

この度、同窓会幹事を務めます千葉真果です。初めてのことで、分からないことだらけで至らない点があると思いますが、精一杯努めたいと思います。宜しくお願いします。

3年1組 本田敏輝

宮城県築館高等学校三年一組のクラス幹事を担当します本田敏輝です。やるべき時が来たらしっかりと仕事をこなせるよう頑張ります。皆さんも恥ずかしがらず、同窓会など積極的に参加をお願いします。卒業しても、仲のいい一組でいませう。

3年2組 佐藤歩夢

クラス幹事として、みんなを素早くまとめ、すぐに行動できるように頑張りますので、よろしくお願いします。

3年2組 江畑妃穂

この度、同窓会幹事を務めます江畑妃穂です。分からないことが沢山あり、不安いっぱいですが、仲間と支え合いながら頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

3年3組 深見源太

同窓会の幹事に選ばれました、深見源太です。選ばれたからには、同窓会に来る同級生が不便のないように、受付や会場の準備などの役割をしっかりと果たせられるようにしたいです。

3年3組 竹村明日香

初めまして。この度クラス幹事になりました、竹村明日香です。陸上競技部に所属しておりました。初めてのことで至らない点もあると思いますが、責任をもって務めさせていただきますと思います。宜しくお願いします。

3年4組 今野楓菜

三年四組の同窓会幹事になりました今野楓菜です。伝統ある築館高校の幹事を努めるにあたり責任と誇りを持って行動させていただきます。分からないことばかりですが、私なりに頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

3年4組 木川田勇輝

私、木川田勇輝は築館高校の伝統や校風を大切にして、新しいことにもチャレンジしていく、そんな幹事を目指していきます。全員で参加し、全員が楽しめるように頑張りたいと思います。また、同級生だけでなく先輩方や後輩との交流も大事にし、よい関係が築けたらいいなと思っています。



会長としての1年間

生徒会長 二塚 希

私は昨年生徒会長に就任してから、学校行事や様々な活動に尽力してきました。ようやくコロナ禍が落ち着いてきて、普段の学校生活や文化祭、体育祭などの制限もなくなり、当たり前のように過ごせることの有り難さを改めて感じた1年間だった。時には自分の中で答えが出せず、責任と不安に押しつぶされそうになることもあった。そのたびに執行部が手を差し伸べてくれた。仲間がいる幸せを身にしみて感じた。

生徒会長としての活動で、一番印象に残っているのは、やはり定期戦だ。今年度の定期戦は、コロナ前の例年通りに開催する事ができた。全員が例年を知らない中での定期戦だったが、全ての関係者の協力のおかげで、無事回校集まっでの定期戦を開催する事ができた。結果は、惜しくも負けてしまったが、辛い応援練習を最後までやりきってくれた生徒諸君の団結力があれば、来年こそ、確実に勝利できると私は思っている。1、2年生の諸君には来年、築館高校の校庭で声高らかに凱歌を響かせてほしい。3年生一同、心から勝利を願っている。

これからの生活は、以前とは全く異なったものになっていくと思う。その中で、1・2年生には生活に適應し、仲間と協力し合いながら、「やりたい自分へ」と向かって欲しい。立ち止まってしまう時、上を見れば先輩がいて、横を見れば仲間がいる。そうやって、どんどん人を頼り、答えを見つけながら進んで欲しい。

最後に私は、1年間生徒会長としての活動を通して、多くの経験をさせていただいた。活動自体は、楽しんでできたものの、大変だったことも多かった。乗り越えることができたのは、たくさんの支えがあったからだと思う。1年間、本当にありがとうございました。

編集後記

“かまやつひろし”をご存じでしょうか？ 下駄を鳴らして、奴が来る。腰に手ぬぐいぶらさげて、学生服に染みこんだ男の臭いがやってくる。あ～っあ～夢よ、良き友よ……。母校は良いものだ。私は勝手にこの歌は、築館高等学校のことだと信じ込んでいる。今も！